

Pioneering New Breakthroughs in Electronics

**DAISHINKU CORP.**

2019年3月期

決算説明会



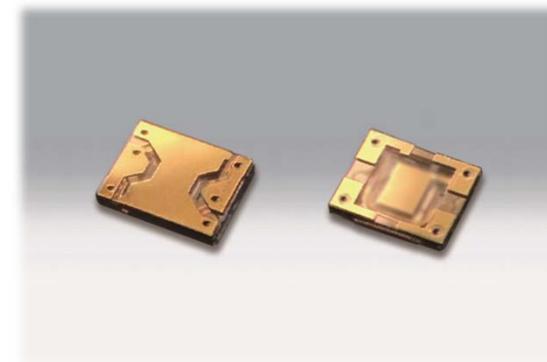
株式会社 **大真空**

☆ Arkh.3Gの本格的な量産体制を準備

☆ 世界最小/最薄の温度センサ内蔵  
水晶振動子「DSR1210ATH」を開発

☆ electronica 2018に出展

☆ 天津大真空  
通期で最終黒字化





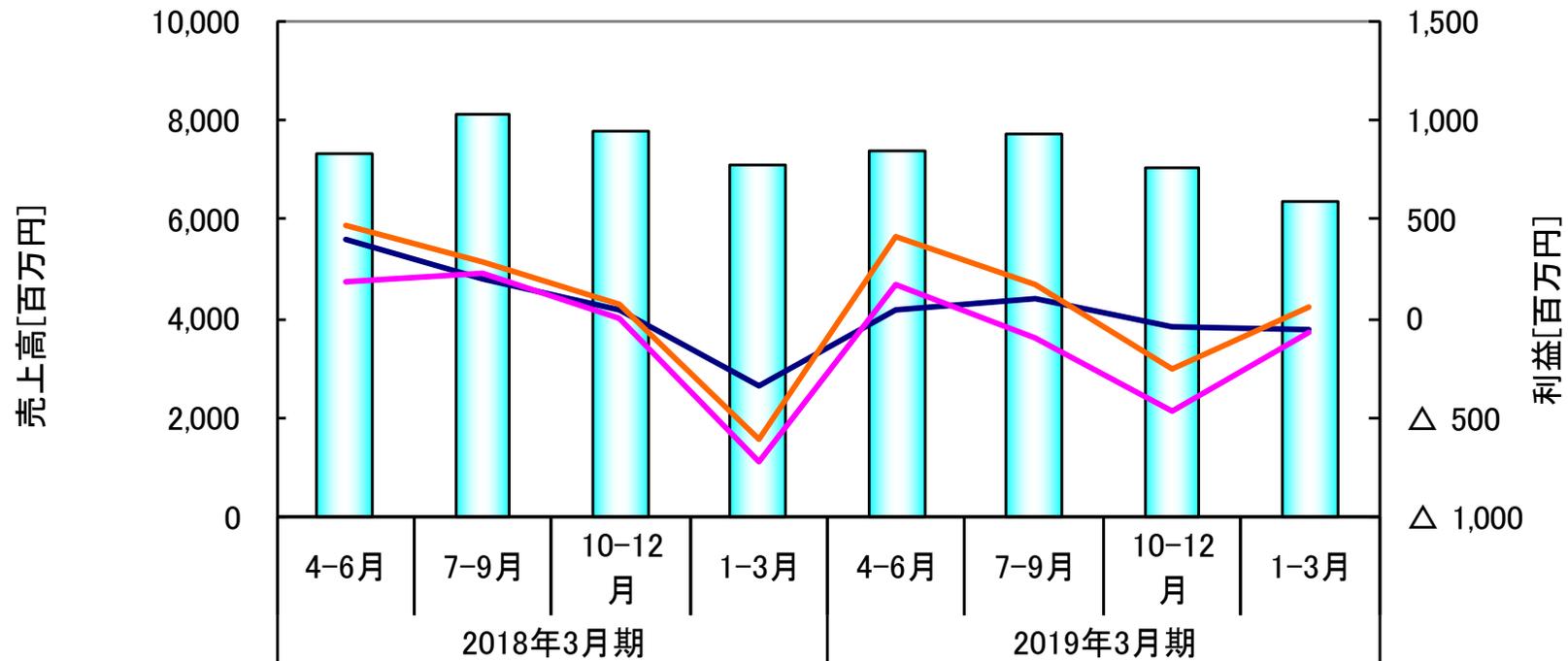
# 業績<連結>

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	前期比	
			増減	増減率
売上高	30,298	28,457	△ 1,841 ↓	△ 6.1%
営業利益	300	47	△ 253 ↓	△ 84.3%
経常利益	216	381	165 ↑	76.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 298	△ 475	△ 177 ↓	-
1株当たり当期純利益(円)	△ 36.93	△ 58.95	△ 22.02 ↓	-
総資産	59,315	58,431	△ 884 ↓	△ 1.5%
純資産	30,880	30,566	△ 314 ↓	△ 1.0%
株主資本比率(%)	43.8	43.6	△0.2ポイント ↓	-
1株当たり純資産(円)	3,216.10	3,157.37	△ 58.73 ↓	△ 1.8%
USD期末レート(円)	106.24	110.99	4.75 ↑	-
USD平均レート(円)	110.85	110.92	0.07 ↑	-



# 四半期業績<連結>

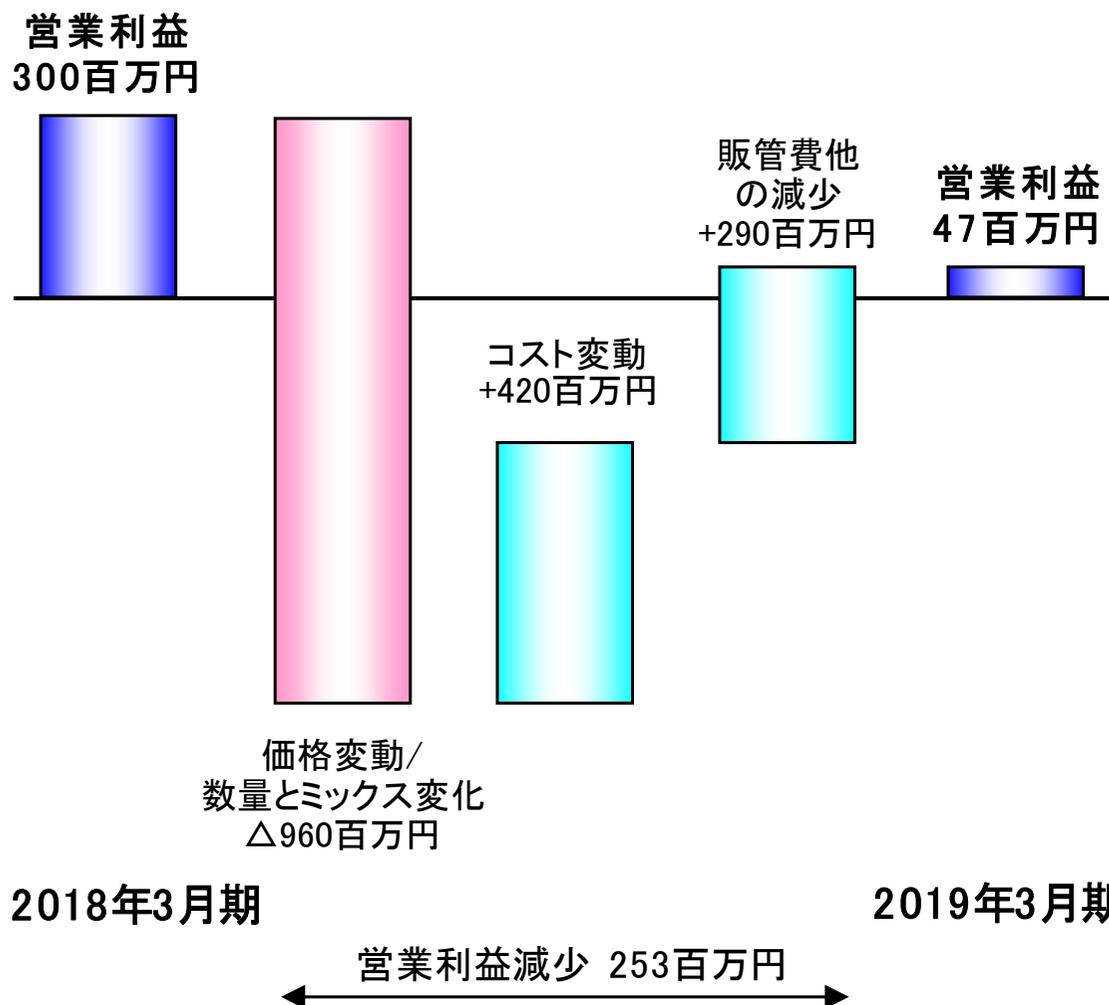


売上高	7,304	8,095	7,802	7,097	7,367	7,710	7,051	6,329
営業利益	397	203	36	△ 336	48	105	△ 45	△ 61
経常利益	463	290	68	△ 605	412	173	△ 254	50
当期純利益※	188	234	1	△ 721	166	△ 97	△ 467	△ 77

※親会社株主に帰属する四半期純利益



# 損益分析<連結>





# 機種別販売実績<連結>

単位:百万円

	2018年3月期	2019年3月期	前期比
一般水晶振動子	14,014	13,622	△ 3% ↓
音叉型水晶振動子	3,039	2,950	△ 3% ↓
水晶応用製品	12,291	10,562	△ 14% ↓

◆ 価格変動の影響などにより、水晶応用製品が前期比で2桁マイナス



# 用途別販売実績<連結>

単位:%

用途別(構成比)	2018年3月期	2019年3月期	前期比
通信	36	36	△ 6% ↓
カーエレ	31	31	△ 8% ↓
民生	20	19	△ 10% ↓
産業	11	12	1% ↑
その他	2	3	9% ↑

※前期比は絶対額の増減率

◆特に下期以降、米中貿易摩擦の影響を受けるなど、産業分野は前期比1%のプラスに留まる



# 地域別販売実績<連結>

単位：%

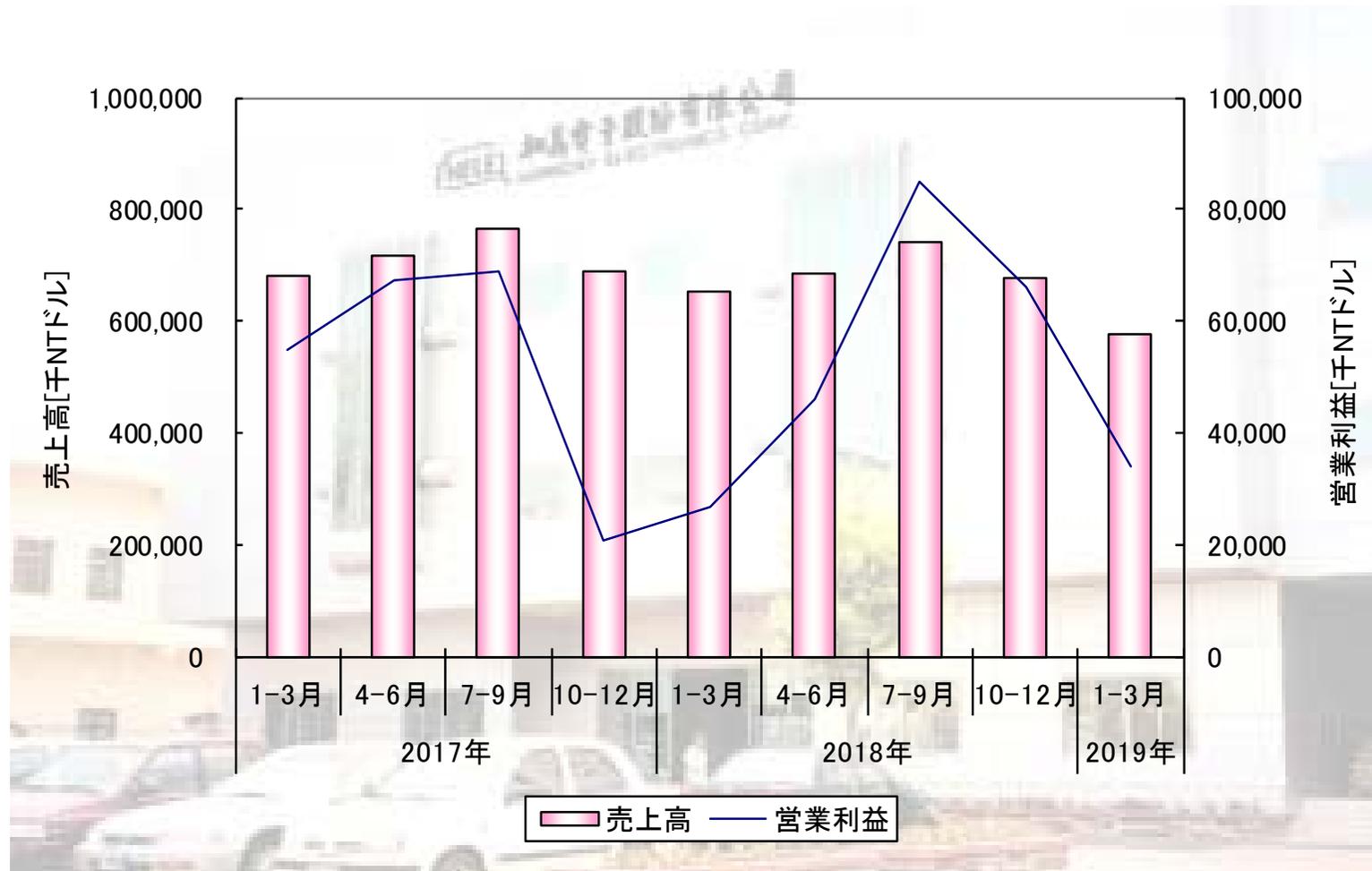
地域別(構成比)	2018年3月期	2019年3月期	前期比
日本	16	16	△ 6% ↓
アジア	69	68	△ 7% ↓
北米	6	7	8% ↑
欧州	10	10	△ 7% ↓

※前期比は絶対額の増減率

※2018年3月期より集計方法を変更

海外売上比率	84	84	±0ポイント →
海外生産比率	54	56	2ポイント ↑

◆医療/ヘルスケア関連が増加し、北米での販売が前期比プラス



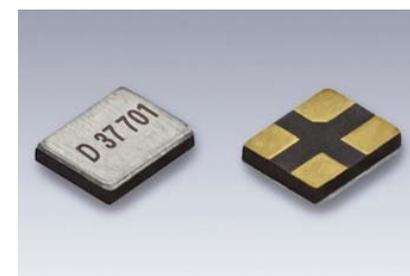


# 設備投資・減価償却費 研究開発費<連結>

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減
設備投資	2,888	2,484	△ 404 ↓
減価償却費	2,860	2,801	△ 59 ↓
研究開発費	1,825	1,716	△ 109 ↓

◆小型の水晶振動子や水晶発振器などの能力増強





# 業績予想<連結>

単位:百万円

	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前期比	
			増減	増減率
売上高	28,457	32,000	3,543 ↑	12.4%
営業利益	47	1,000	953 ↑	2021%
経常利益	381	930	549 ↑	143.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	△ 475	440	915 ↑	-
1株当たり配当金 中間:10円 期末:5円		-	-	-
USD平均レート(円)	110.92	110.00	△ 0.92 ↓	-
設備投資	2,484	5,200	2,716 ↑	109.3%
減価償却費	2,801	3,300	499 ↑	17.8%
研究開発費	1,716	2,000	284 ↑	16.6%



# 機種別/用途別の計画

単位：百万円

機種別	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前期比
一般水晶振動子	13,622	16,300	20% ↑
音叉型水晶振動子	2,950	3,000	2% ↑
水晶応用製品	10,562	11,400	8% ↑

単位：%

用途別(構成比)	2019年3月期 実績	2020年3月期 計画	前期比
通信	36	38	19% ↑
カーエレ	31	31	14% ↑
民生	19	18	7% ↑
産業	12	11	微増 ↑
その他	3	2	3% ↑

※前期比は絶対額の増減率



# 新しい期の主な取り組み

☆新構造デバイス(Arkh.3Gシリーズ)

の本格的な量産の開始

☆スマホ依存からの脱却

☆次世代製品に向けた

大型人工水晶の育成

## スマホ以外の市場に TCXO・サーミスタ付水晶振動子を拡販

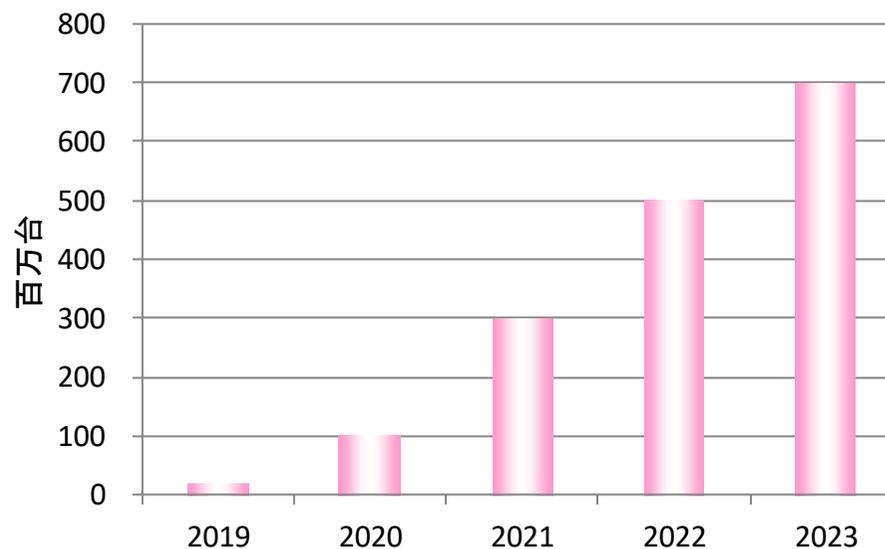
5G

次世代WiFi



IoT

NB-IoTの市場予測



※出展:富士キメラ

# カーエレクトロニクス向け 販売方針



## ADAS向けなどに広い温度範囲に対応した 水晶振動子・水晶発振器を拡販

ECU

Infotainment System

Transmission Control Units

GNSS Receivers



自動運転

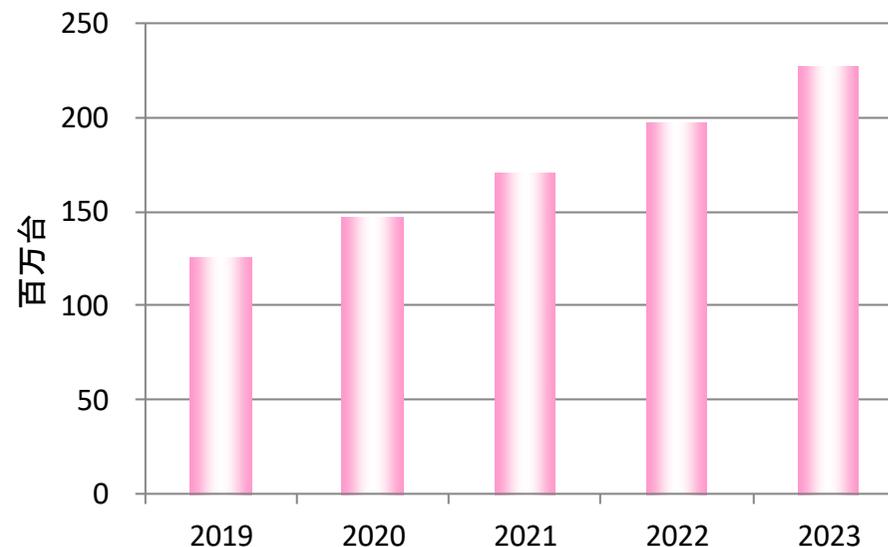
つながるクルマ

ADAS

カメラ

Rader

車載カメラの市場予測



※出展: 富士キメラ



# 民生/産業向け販売方針

光通信やカメラモジュール、各種コンシューマ製品向けなどに高付加価値な製品を拡販

AIロボット

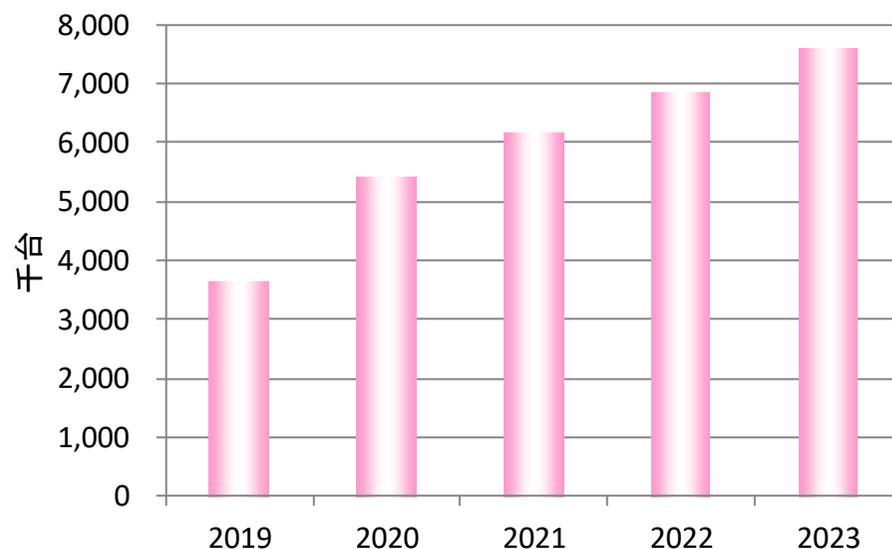


IoT



光通信

光トランシーバの市場予測



5G基地局



監視カメラ

※出展：富士キメラ

<水晶発振器:DSO211/221SX DSO211/221SXF>

ターゲット：カーエレクトロニクス(SXシリーズ)

通信、民生、産業(SXFシリーズ)

★ AOI(自動光学検査)対応の水晶発振器

★自動運転レベルⅡにも対応

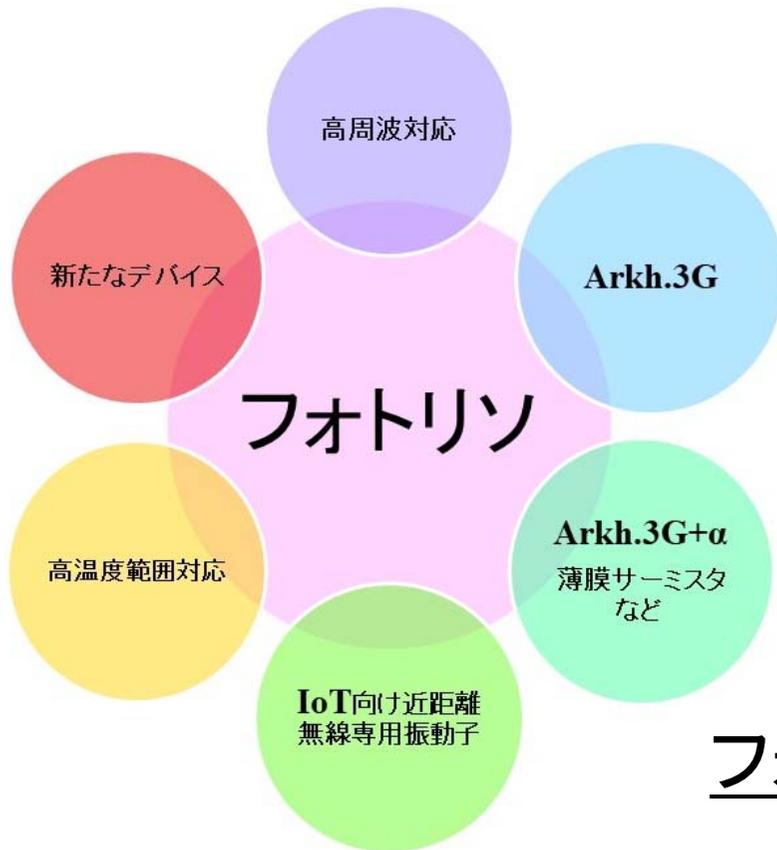
★カーエレクトロニクス分野をはじめ、あらゆる市場のニーズに対応

★周波数安定度： $\pm 50 \times 10^{-6}$ ( $-40^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$ )

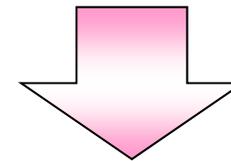
※ $\pm 25 \times 10^{-6}$ ( $-40^{\circ}\text{C} \sim +125^{\circ}\text{C}$ )は2019年10月開発完了予定



# 今期以降の取り組み 「フォトリソ技術」



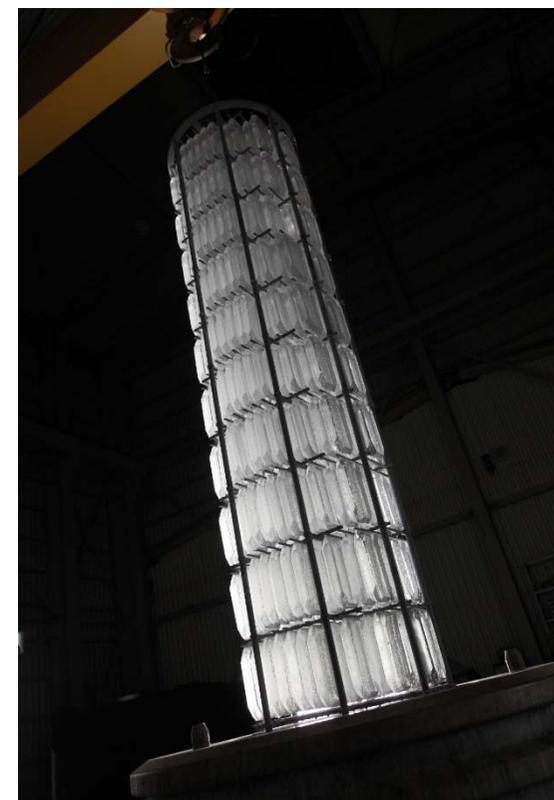
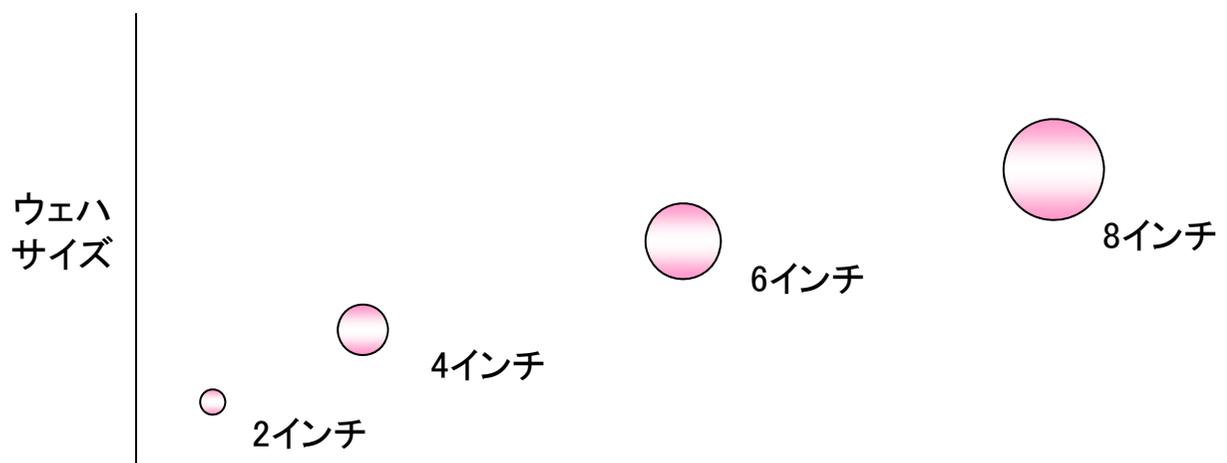
Arkh.3Gをはじめとした新製品  
ではフォトリソがコア技術



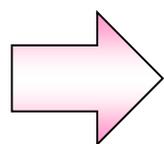
フォトリソに最適な水晶ウェハが重要



# 今期以降の取り組み 「水晶ウェハの大判化」



## 人工水晶育成技術を強化



- ・原石の高品質化/大型化
- ・水晶ウェハの高精度化/大判化

# 今期以降の取り組み



## 「製品開発」

### 水晶デバイスに求められる特性

高周波

小型/高精度

低位相ノイズ

高温対応

- ☆これまでにないアプローチを用いて  
近距離無線向けに特化した製品の開発
- ☆高密度実装における温度上昇追従性を  
追求した製品の開発
- ☆MEMS発振器と水晶デバイスを融合した  
製品の開発

A horizontal bar composed of several blue rectangular segments of varying lengths and shades, transitioning from a solid dark blue on the left to lighter shades on the right.

今期の業績などの予想につきましては、現時点  
で得られた情報に基づき算出していますが、不  
確定な要素を含んでおります。業況の変化など  
により、業績予想とは違った結果になりうるこ  
とをご承知おきください。